

# 新美南吉読書会 参加者募集



## ー5月から新サイクル・スタート！ー

毎月1、2作ずつ南吉作品を読み、自由に意見や感想を話し合う新美南吉読書会。

平成12年から矢口栄元新美南吉記念館長を中心に10～30名のメンバーで続けてきました。

新美南吉生誕110年の今年、ナビゲーターを交代し、5月から新サイクルが始まります。原則として初期作品から執筆順に約60作品を5年間かけて読んでいきます。

南吉作品を読んだことのない方も大歓迎です。

一緒に南吉作品を読んでみませんか。

- 日 時／原則第4日曜日 14時～16時
- 場 所／新美南吉記念館 会議室
- 参加費／年間テキスト（1部500円）を購入していただきます。  
※体験参加の場合、ご自身でその回のテキストをご用意  
いただければ、年間テキストの購入は必要ありません。



みんなで読むと  
自分とは違う読み方や  
気づかなかった作者  
の意図が見えたりして  
面白いですよ。

ナビゲーター

遠山光嗣（新美南吉記念館館長）

- 備 考／毎回参加できなくても構いません。ご都合のつく回に  
ご参加ください。

日程は変更になる場合がありますので、初めて参加する際は電話でお申込みください。

- 問合せ・お申込み先／ 新美南吉記念館 半田市岩滑西町1-10-1  
Tel.0569 (26) 4888



### 【2023年度 南吉読書会予定】

月	日	曜	とりあげる作品	解説
4月			お休み	
5月	28日	日	「牛をつないだ樁の木」	現代に問う南吉の美しい生き方
6月	25日	日	「銭坊」／「唾の蝉」	習作期に書かれた喪失の物語を読む
7月			お休み	
8月	27日	日	「張紅倫」／「アブジの国」	民族の垣根を越えて～アジアの友への眼差し
9月			お休み	
10月	22日	日	「巨男の話」	「ごん狐」へと繋がる愛と悲しみの物語
11月	26日	日	「飴だま」／「赤いろうそく」／ 「去年の木」	教科書にも載った幼年童話の代表作を読む
12月			お休み	
1月	28日	日	「正坊とクロ」	少年と老熊の絆～『赤い鳥』初掲載作を味わう
2月	25日	日	「千鳥」／「ランプの夜」	南吉が書く戯曲の面白さに触れる
3月	24日	日	「こぞうさんのおきょう」／ 「一年生たちとひよめ」／ 「子どもの好きな神さま」	童心あふれる幼年童話にほっこりしよう！